

第2回横手市ごみ処理統合施設環境保全委員会会議録

1. 日 時 平成25年3月28日(木)午後1時30分 ~ 3時50分
2. 場 所 本庁南庁舎 講堂

3. 出席者

委員名

阿 部 豊
山 石 正 悦
鈴 木 隆
関 顯 矩
阿 部 久 一
照 井 新 一
伊 藤 正 喜
笹 山 義 夫
今 雅 平
菅 原 敏 次
笹 山 久 和
佐 藤 哲 紹
高 橋 永
田 中 正 博
塩 田 悦 子
太 田 壽 一
前 田 利 廣
高 橋 徳 保

以上18名

欠席された委員

村 井 恵 子
鈴 木 成 弘
三 浦 勝 則
滑 川 康 夫
鈴 木 百合子
佐々木 淳
渡 邊 康 男

以上7名

副市長
事務局

佐 藤 良 吉 (途中退席)
小 丹 茂 樹 (市民生活部長)
菊 地 晴 男 (市民生活部次長兼生活環境課長)
佐 藤 勉 (生活環境課廃棄物担当副主幹)
藤 原 一 裕 (生活環境課廃棄物担当主査)
木 村 任 弘 (生活環境課環廃棄物担当主査)

近 江 秀 和（生活環境課環廃棄物担当主査）
蛭 川 聡（生活環境課廃棄物担当副主査）
鈴 木 崇 仁（生活環境課廃棄物担当副主査）
齊 藤 瑞 恵（生活環境課廃棄物担当主任）
細 谷 大 智（生活環境課廃棄物担当主任）

以上 11 名
（出席者合計人数 29 名）

4. 開会

（菊地次長）

本日は大変お忙しい中ご出席をいただきましてまことにありがとうございます。本日の司会を努めさせていただきます、市民生活部生活環境課長の菊地と申します。よろしく申し上げます。それでは、定刻になりましたので始めさせていただきます。会議に先立ちまして、佐藤副市長からごあいさつ申し上げます。

5. 佐藤副市長あいさつ

どうもご苦労さまでございます。長かった冬もようやく春らしくなってきた、われわれの気持ちも前向きになれるのかなという季節になりました。6月に1回目を開催してから9ヶ月ほどたったの第2回目ということになります。この間の状況としては、地権者の方々の土地売買契約を締結したほか、施工及び運営を行う企業も決定をし、来年度からは具体的な動きになろうかと思えます。28年4月の本格稼働を目指して、その間さまざまな点で皆様にはいろんな形でご意見やらお力添えやら、たくさん頂戴しなければならぬことがたくさんあると思えます。今後もよろしくどうか、お願い申し上げます。開会の言葉に代えさせていただきます。と思えます。

6. 山石委員長あいさつ

みなさんこんにちは。当初、横手市ごみ処理統合施設環境保全委員会ということで、発足したわけでございますが、市の定めによってクリーンプラザよこて環境保全委員会という、新しい名称の委員会となったということでございます。昨年はあの、6月に第1回目の当委員会を開きまして、その中で、事業の概要や保全委員会の構成、役目等をお話したわけでございます。今回も皆さん方の、忌憚のないご意見等を賜りながら、進めて行きたいと思えます。よろしくお願いいたします。

7. 議事録署名委員の指名

（山石委員長）

それでは次に議事録署名委員の指名ですが、本日の名簿順に3番の鈴木隆委員と4番の関顯矩委員にお願いします。

8. 協議 1) クリーンプラザよこて整備事業の進捗状況について

（山石委員長）

それでは協議に入りたいと思えます。最初に皆さんのお手元に差し上げております、資料の中から、クリーンプラザよこて整備事業の進捗状況について、事務局からお願

いします。

(佐藤副主幹)

それでは、資料に基づきまして、ご説明を進めたいと思います。生活環境課の佐藤と申します。よろしく申し上げます。

—資料説明—

(山石委員長)

ただいまあの、事務局で説明がありました。クリーンプラザ整備事業の進捗状況について、ご質問、意見等ありませんか。

(委員)

耕作に支障のないようにとのことだが、果樹についての状況を教えていただきたい。

(佐藤副主幹)

田だけでなく当然野菜畑及び果樹畑の農家のみなさんに対しても、ご迷惑をおかけしないように工事を進めたいと思っております。

(山石委員長)

よろしいですか。他にございませんか。

(委員)

南北の搬入路を繋げないでもらいたいという要望があったと思うが、この図を見れば、繋がっているような感じがする。

(佐藤副主幹)

市としては、南北に通り返けができないように整備させていただくということで、説明しております。動線計画図をご覧になっていただきたいのですが、施設の入り口に門扉を設置します。ごみ収集車は4時半までの搬入ですので、この門扉が常に開放されているという状況ではないため、通り返けができないと考えていただければと思います。より実効性のある形にするというのは今後の協議の中でまとめていきたいと思っております。

(山石委員長)

よろしいですか。他にございませんか。

(委員)

ごみの搬入車は南側からのみの出入りということで良いか。

(佐藤副主幹)

ごみ収集車については、これまでご説明して参りましたとおり、南側を入れてくるという方針に変更はございませんので、よろしく申し上げます。

(委員)

それともう一点ですが、今このご時勢ですので、少しでも多く、せっかくこれだけの土地を確保して、環境を整備しようとしているのですから、発電もできるだけ努力してもらえたらと思います。

(佐藤副主幹)

東日本大震災以降、電気の地産地消という考え方が急浮上してきた中で、我々が新しく整備するごみ処理施設についても当然発電を行いたいと考えておりました。また、利用できるエネルギーは利用するというので、発電に利用した後の熱エネルギーについては、場内のロードヒーティングに回すほか、太陽光パネルや雪室の利用等も業者から提案をいただいております。

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他に何かありませんか。

(委員)

特別目的会社が、20年間の運営管理を行うということですが、ごみ量が人口減少ともなっていて減って行くと、ランニングコストが高くなる懸念がある。具体的に、どのように考えているのですか。

(佐藤副主幹)

人口が減ってごみ量も減ると、施設の運営会社の運営そのものが厳しくなるだろうというご指摘だと思います。我々が推計した範囲内においては、まったく支障はないだろうとっております。今回請け負っていただいた業者は、日本国内でも有数の大手ですので、特別目的会社の運営について、20年間安定的に運営していただけるものと考えております。

(委員)

コスト的なデータは何を見れば分かるのか。

(木村主査)

コスト関係のデータですが、全国のごみ処理施設におけるコストというものは環境省のホームページで公表しているものを活用すると可能かと思っております。今回の業者は、全国で12の長期運営の業務を請け負っております。今回は、ごみ種類の単価を原単位とした経営判断を行っていきたいという提案を受けておりますので、ごみの変動量に対する経営の考え方もしっかりしていると、我々は判断しております。

(山石委員長)

その他にございませんか。

(委員)

私も当初から、ごみ運搬以外の、一般車両には通り抜けしていただきたくないということで、要望をしておりますが、時間帯によって守られるかということ、ひとつ厳密に調べていただきたい。通り抜け禁止の看板の設置もお願いしたい。それと、ごみ収集車が南側に偏ってしまう。五分五分位に調整をしてもらいたい。最後に、盛土部分の草刈は誰がやるのか。

(佐藤副主幹)

一つ目の、通り抜け対策でございますけれども、業者に対して、きちっとした対策を取っていただきたいということは、はっきり申し上げております。通りぬけ禁止等の表示については、今後の協議の中で、それが実践されていくと考えております。二つ目のごみ収集車の搬入量についてですが、我々としては、地元の皆さんが心配するような交通状況にならないように進めていくということが一番大事だと思いますので、地元の皆さんと引き続きお話を進めていきたいと思っております。それから最後の質問ですが、基本的に施設の維持管理は、運営会社さんで、草刈等はやっていただくことになるのはもちろんだと思います。工事に伴ういろいろな懸念がございましたら、我々にお話をいただければ非常にありがたいと思っております。

(山石委員長)

他にございませんか。

(委員)

用水路や排水路等の整備を確実にお願いしたい。

(佐藤副主幹)

相違ないように、しっかり打ち合わせをさせていただきたいと思っておりますので、具体的に教えていただければありがたいと思います。

(山石委員長)

他にございませんか。

(委員)

落札者が決定したということであれば、金額も決定なさっておると思いますけれども、ここには決定された金額は書かれていない。金額を教えてください。二つ目に、この方式は企業体方式でしょうかそれともあくまでも代表企業なのか。最後に、設計と建設期間内で3.4億円、運営維持管理期間で8.5億円を市内企業に発注するようだが、どのように確認できるのかを教えてください。

(佐藤副主幹)

大変恐縮でございます。落札金額は、154億9883万8700円でございます。資料の作成上不具合な点がございまして申し訳ありませんでした。協力企業ということで、3社並べて表示しておりますが、建設企業は建設に当って、建設共同企業体を構成する構成員でございますので、共同企業体として施設の整備に当たっていただくこととなります。また、資源化企業は、施設から出る灰は、間違いなくセメントの原料にしますといったような契約を交わす企業となります。それから、提案概要にある設計建設期間3.4億円、運営維持管理期間8.5億円といったことについてですけれども、これは、提案という形で、我々に示された金額でございます。我々としても当然実績はどうでしたかといった問いかけが必要と考えております。これは、ノルマのような数字だと思っておりますので、これ以上の実績を報告していただけると期待しております。

(委員)

JV比率はどうなっているか。

(佐藤副主幹)

入札公告の中でJV比率まではうたっておりませんので、この後の話し合いになるかと思っております。一般的には代表企業が過半を占めることになると思われま

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他にありませんか。

ーなしー

9. 協議 2) 周辺環境調査について

(山石委員長)

それでは、次に周辺環境調査について事務局からご説明をお願いします。

(佐藤副主幹)

ー資料説明ー

(山石委員長)

事務局から説明がありました周辺環境調査について、皆さまからのご意見やご要望ありましたらよろしくをお願いします。

(委員)

荒沼の管理をしているが、この数値をどのように判断すれば良いのか。また、環境

基準をクリアするためにはどのようなことをすれば良いのか。

(佐藤副主幹)

大変恐縮ですが、知見を持った委員さんにご助言をいただければ助かります。

(委員)

基本的なことで恐縮ですけれども、測定ポイントによってデータも違うと思います。おそらく表層だとは思うのですけれども。ポイントによってデータは違います。水量も夏と冬では違いますし、測定ポイントの統一を今後検討していただきたいと思います。また、環境基準をクリアするためにどうすれば良いかというお話ですが、閉鎖的な湖沼は常にこういった状態があります。入ってくる水がきれいな水ばかりでないので、流入する水がきれいになれば、当然環境基準はクリアできます。

(委員)

荒沼に入ってくる水は生活污水がほとんどです。構造的に必ず良くない水が入ってくる。

(委員)

そうすれば、CODはどうしても高くなる。ある程度理解するしかないと思います。薄めるための水路が確保できるのであれば、かなり浄化にはなると思います。基本的にできるだけ水の流れを良くするのが浄化になると思います。やはり流入する水の汚濁度にもよるので、やむを得ないと思います。

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他にありませんか。

(委員)

煙突の高さを知りたい。

(佐藤副主幹)

煙突の長さは59メートルで指定しております。

(委員)

例えばその設置場所で風船を59メートル上げて流してみる試験とかはやったのでしょうか。シミュレーションは計算できておりますか。

(木村主査)

施設の整備に入る前に生活環境影響調査を行い、施設規模と煙突の高さからシミュレーションした計算結果は出ております。今後、具体的な施設の大きさ等が決まった段階で再度シミュレーションすることも考えておりますので、その結果は出させていただきます。

(山石委員長)

よろしいですか。他にありませんか。

(委員)

去年や今年の調査がベースになってくるわけですがけれども、稼動後も同じ場所で同じ検査をするのでしょうか。また、年に何回測定するのか。

(佐藤副主幹)

基本的には同じ地点で同様の測定を考えております。周辺環境については、定点で年に一回と考えております。

(委員)

それと最近あまり騒がなくなった放射能ですが、調べていると思いますがそのデー

夕は今出てないですよ。放射能だけでなく、近隣に生活する我々にとってごみ処理施設ができた後、環境が大きく変わることを懸念している。年一回というのが決められた検査なのであれば、やむを得ないかもしれませんが、環境が今以上に汚染された場合、どういう対処をしていくのか教えていただきたいと思います。

(佐藤副主幹)

周辺環境調査は市で実施しますが、業者も、積極的な環境測定を実施すると提案してきております。ごみ処理施設が原因で、周辺の環境に甚大な影響を実際に及ぼす前に、そういった状況を把握する体制ができていると思っております。もし仮に周辺の環境に甚大な影響を及ぼした場合、原因究明というのはもちろんですけども、そういった汚染状況を回復させるための手立てを市として責任をもってやるといったようなことが基本的な姿勢だと思っております。ただそうならないための施設側での安全対策というのは、二重三重に用意させていただくと思っております。

(委員)

仮に起きた場合のために、地域の住民を避難させる計画等を策定してもらいたい。

(佐藤副主幹)

今言っていたご意見は参考にさせていただきたいと思います。

(委員)

環境データについてですが、横手保健所でも測定をしております。最近問題になっているPM2.5については、今年の3月8日からデータを取っており、ホームページに掲載しております。それともうひとつ、13号線の道路沿いで自動車排ガス測定を実施しております。県が常時観測している情報もあるということをご理解いただきたいと思います。

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他にありませんか。

(委員)

石綿に対する対策は実施しておりますか。

(委員)

アスベスト除去工事の際に、当然業者も行いますし、県でも、必要に応じて周辺地域のアスベスト濃度を測定しますし、県の健康環境センターで測定しております。

(委員)

それは工事に対してだと思いますが、まだ被災地があのような状態ですから、瓦礫の処理の遅れで、この施設でも処理しなければならないのではないかと思います。ごみ処理量が減るわけですから、焼却施設の余力は必ず出る。現在大曲は、アスベストに対しての対策を取っているのでしょうか。

(佐藤副主幹)

不燃物の場合は、アスベストの含有が考えられますが、現在横手と大曲に入っているのは、アスベストを含まない可燃性の廃棄物と考えております。

(委員)

始めからゼロだと考えて、全然データを取っていないわけですね。

(佐藤副主幹)

受け入れの段階で、アスベストが入っているものは除外しております。

(委員)

被災地ではそこまで選別できていないですよ。ですから、アスベストの検査項目を増やしてもらいたい。ランニングコストを下げるために、他から持ち込むことも考えられる。

(近江主査)

災害廃棄物のアスベストについては、受け入れる前に野田村でアスベストの検査をしており、問題ありませんでした。それから、受け入れをしている最中にアスベストの検査を東部環境保全センターで測定しており、これも問題ありませんでした。

それから、今後余力がある場合に災害廃棄物が入ってくるのではないかとのご心配でありますけれども、今協定を結んでいる以外のものが入ってこないということでご了解していただきたいと思います。

(山石委員長)

よろしいですか。他にございませんか。

(委員)

市では、設備稼働後に数値が上がると見ていますか。変わらないと見ていますか。

(佐藤副主幹)

あくまでも、事務局サイドの話ですが、おそらく変わらないと思っております。

(委員)

いろいろ焼却炉のメーカーにお話聞いてみますと、将来的には少しずつ上がっている。そこら辺を踏まえたくえで準備をしていただきたいと思います。

(山石委員長)

よろしいですか。他にありませんか。

(委員)

メーカーによって、いろいろあると思いますが、どのメーカーの焼却炉を使用するのか、その性能の比較等もデータで示してもらえればと思います。

(木村主査)

今回採用するのはストーカ炉といわれるタイプでございまして、現在の東部環境保全センターと同じ形式となります。この他に、形式として流動床とガス化溶融と呼ばれるタイプ等ございますけれども、今回のストーカ炉に関しては、メーカーの違いによって大きく性能が異なるということはありません、その分安定して使っている自治体が多いというのが実態でございます。詳しいデータとなりますと、それぞれのメーカーが営業で来る範囲のものしか持ち合わせがございません。

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他にありませんか。

ーなしー

10. 協議 3) 交通安全対策の検討状況について

(山石委員長)

それでは、交通安全対策の、検討状況についてやりたいと思います。事務局説明よろしくお願ひします。

(佐藤副主幹)

ー資料説明ー

(山石委員長)

ただいま事務局から交通安全対策の検討状況について説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。

(委員)

それぞれ各町内会でいろいろ要望を出していると思いますが、湯沢横手道路の下のボックスで、集中豪雨後に水が溜まってしばらく通行できないので、調査して欲しいと昨年要望いたしました。マンホールをもっと大きくするとか、ヒューム管やU字溝をもっと大きくするとか対策を取らないと、いつまでも、その状態は続くと思います。それと、工業団地に運送会社が営業開始すると思が、結構中型車や大型車がこの場所を通る。工業団地の敷地が高く、見通しが悪いので優先順位を決めていただかないと、事故が起きる可能性がある。交通調査等をやってもらいたい。

(佐藤副主幹)

水の関係については、昨年7月の町内会長会議の中でも、いろいろお話をいただきました。今後調査をさせていただきたいと思います。それから交差点の関係ですが、誘致企業の進出後調べていないので、検討させていただきたいと思います。交通の規制については、我々だけでできない点もございますので、警察も含めて現状を把握した上で、どういう対策が有効なのかというところを相談していきたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。

(山石委員長)

他に何かありませんか。

(委員)

交通安全に関して話がそぐわないかもしれませんが、クリーンプラザの敷地の東側に神社があります。参道が用地にかかるようだが、神社に登り降りする道を確保してもらいたい。

(佐藤副主幹)

町内の神社について我々も十分考慮しております。実際に造成工事を行う業者がついこの間決まりましたので、この後神社への通行手段について話をしなければならないと思っております。具体的なお話をできなくて申し訳ないのですけれども、間違いなくその辺も含めて協議をしますのでよろしくお願いします。

(山石委員長)

よろしいでしょうか。他にありませんか。

(委員)

維持管理運営サービスを入札されたということですが、建物自体の管理なのか、今市役所で委託している収集車を含めてのサービスを委託するのか、その点を伺いたいと思います。

(佐藤副主幹)

ごみの収集運搬に関しては、引き続き市で収集業者に委託するというので、変更はございません。維持管理については、あくまでも施設運営と、施設本体だけでなく、敷地も含めた管理になります。

(山石委員長)

他にありませんか。

ーなしー

1 1. その他

(山石委員長)

次にその他とありますけれども、事務局の方から何かありましたら。

(佐藤副主幹)

事務局ではございません。

(委員)

その他ということで、町内会を出している要望は決まりましたでしょうか。

(佐藤副主幹)

要望について、市の方針を書面でお渡ししております。今後も継続して、関係の皆さんとお話は進めていきたいと思っております。会議が終わりましたら町内会長さんとお話をさせていただきたいと思っておりますのでお願いします。

(山石委員長)

他にありませんか。

ーなしー

1 2. 閉会

(山石委員長)

長時間にわたってご協議ありがとうございます。本日の委員会をこれで終わりたいと思います。今後ともよろしくどうぞ申し上げて、今日の委員会を終わります。ご苦勞様でした。

平成 年 月 日

議事録署名委員
